

(1) PDCAサイクルの進め方について①

① 個別の施策のPDCAサイクルは、担当府省が実施。  
 ② 戦略協議会は、重点的取組としてのPDCAサイクルを実施。

※1 特に包括的に進捗状況把握が有効と考えられる重点的取組を、若干数選択して実施することも想定。  
 ※2 評価に用いる指標については、別途事務局において検討中。

各省の役割

|       | 施策      | 各施策の目標達成度評価<br>(定量的、定性的評価を踏まえて、総合評価) |      |         |
|-------|---------|--------------------------------------|------|---------|
| 重点的取組 | 施策(1)-1 |                                      | 85%  | ・・・(総評) |
|       | 施策(1)-2 |                                      | 70%  | ・・・     |
|       | 施策(1)-3 |                                      | 100% |         |
|       | ⋮       |                                      |      |         |

戦略協議会の役割

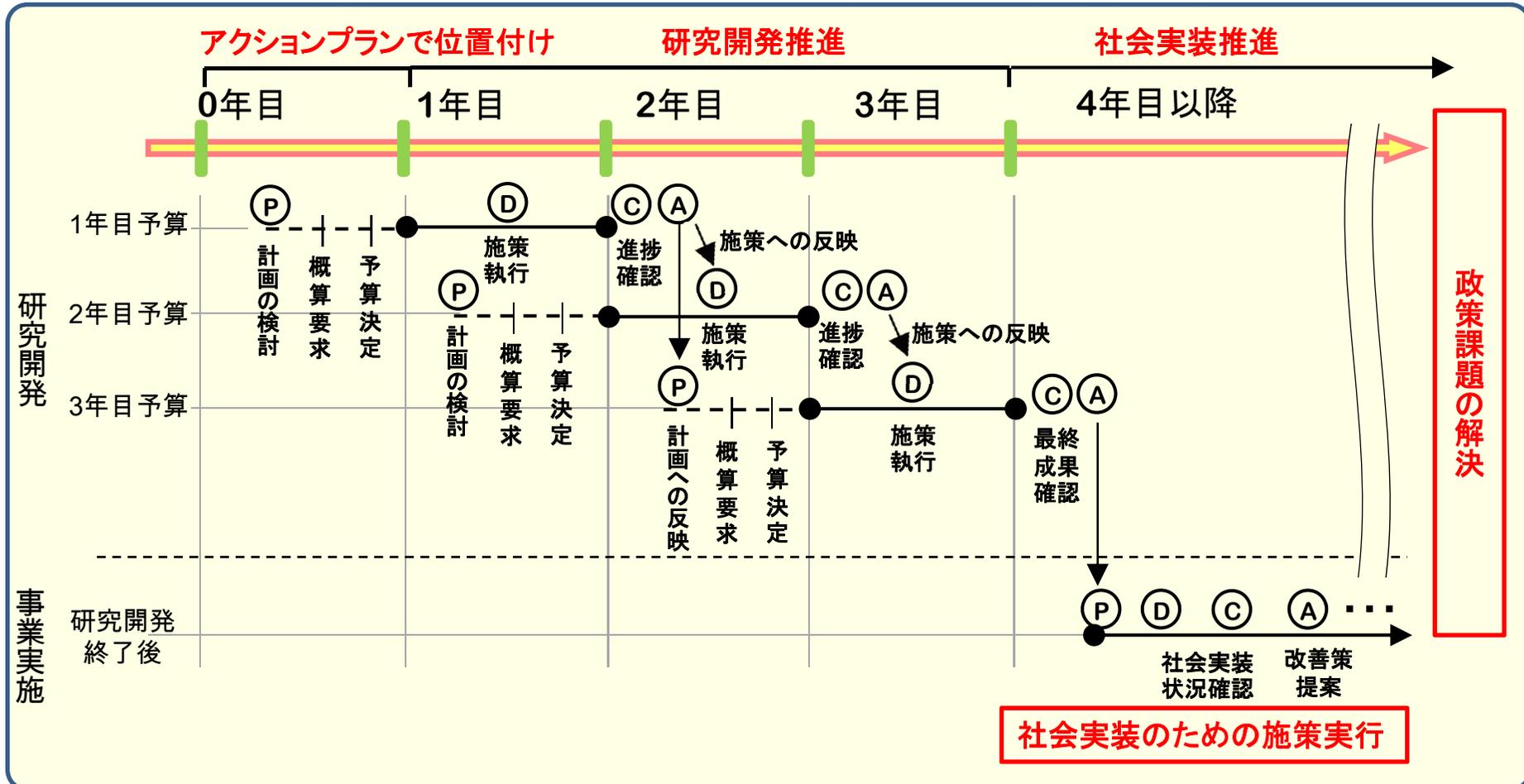
|       | 重点的取組の<br>課題達成度評価   |
|-------|---|
| 重点的取組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点的取組としての進捗評価</li> <li>・重点的取組の効果評価</li> </ul> |

1. 評価の方法
  - ・検証可能な指標に基づく評価
  - ・趣旨に照らした定性的評価
2. 評価の視点
  - ・取組の進捗
  - ・経済的効果、社会的効果
  - ・復興・再生への貢献度
  - ・緊急性
  - ・国が主導することによる効果
3. 評価結果の反映
  - ・当該年度施策への反映  
(各施策進捗への反映)
  - ・次年度重点的取組への反映

## (1) PDCAサイクルの進め方について②

- ① PDCAサイクルにおいて、前年度までの取組の進捗状況を確認し(Check)、見直しが必要な事項を整理して、執行中の施策および次年度の行動計画に反映させる(Action)。
- ② 研究開発終了後は、社会実装に向けた取組を進め、技術の出口までのフォローアップを行う。

PDCAサイクルの実施スケジュールのイメージ（3年間の技術開発の後、社会実装する場合）



## (2) 今後の科学技術分野の復興・再生への取組(協議材料としてのイメージ試案)

### 1. 新「復興・再生戦略協議会」

(総科技議員、イノベーション専門調査会、現協議会委員等の方々から、計10名程度で構成)

- ① 復興再生に関して、研究開発から実用化までを通じた、行動計画の立案と進捗管理を包括的に。
- ② P Tテーマの選定と進捗管理 等



包括的に協議する組織 と テーマ別に具体的に取組む組織

### 2. テーマ別に活動する「プロジェクトチーム」

- ① 集中的に取り組むべき「重点的取組」等について、数件以下に絞って、プロジェクトチームスタイルで検討するイメージ。
- ② テーマ毎に、課題達成戦略(アクションプラン)の立案や、実現に向けた取組のフォローまでを。

「仕組見直し」  
での提案

被災時・復興過程で  
得られた教訓を共有・  
伝承・活用するための  
「復興支援学」の推進

減災の考え方・効果  
・ 研究開発等の指針となる  
考え方  
・ 減衰効果等の検証 等

被災地の創業・雇  
用の拡大のための縁  
の場づくり

災害廃棄物の再  
生利用方法の検  
討

アクション  
プランの  
空重点など

新しいコミュニティづくりを促すコア技  
術の開発と実装  
(スマートシティ…)

競争力の高い農林水産業  
の再生

大量の災害廃棄物  
の迅速、円滑  
な処理と有効利  
用

その他

災害時の情報提供

(復興・再生関連の大規模プロジェクト)  
実用化までのフォローアップ